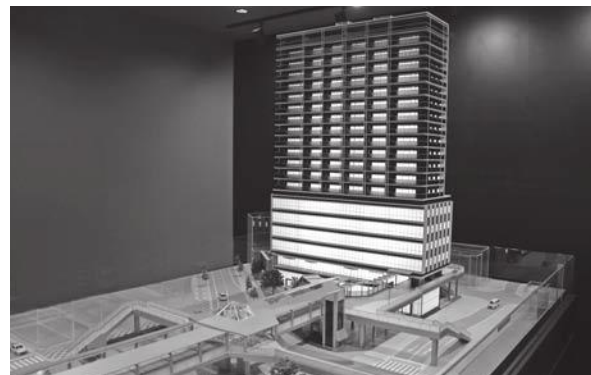


# 平成29年度に取り組んだ主な事業

## 都市環境分野・・・

都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆フローラルガーデンよさみ臨時駐車場を整備し、駐車場不足の解消を図り、利用者の利便性を向上。
- ◆刈谷駅北地区の市有地を活用し、活気とにぎわいの創出を図るため、民間事業者が行う優良建築物等に対する補助。



市の玄関口としての多彩な駅前機能を充実 (刈谷駅北地区のイメージ模型)

## 産業振興分野・・・

人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

- ◆市内で創業する個人に対し、創業時に必要な経費の一部を補助することにより、市内における創業を促進。
- ◆中小企業が人材を確保するため、市外で開催される合同企業説明会に出席した際の費用を一部補助。



出展料の一部を補助

## 教育文化分野・・・

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆名誉市民である加藤与五郎博士の没後50年を記念し、南部生涯学習センター内にある加藤与五郎展示室をリニューアル。
- ◆市外の特別支援学校へ通学する負担を軽減するため、小垣江東小学校を増改築し、肢体不自由に特化した特別支援学校を整備。



障害のある子とない子が共に学べる環境

- ◆中学校の普通教室等に空調設備を設置し、暑さ対策を強化することで、生徒の安全と教育環境を向上。
- ◆老朽化した第一学校給食センターを小垣江東小学校の敷地内に移転新築し、給食に求められる安全な調理環境を維持・向上。



安全・安心・おいしい給食を提供

## 福祉安全分野・・・

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆消費生活上のトラブルについて、専門の消費生活相談員によるサポートが受けられる「消費生活センター」を開設。
- ◆災害派遣トイレネットワークプロジェクトに全国で2番目に参加し、トイレトレーラーの購入資金の寄附を募集。



トイレトレーラー(イメージ)

## 計画推進分野・・・

市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

- ◆市民や来訪者の利便性向上や本市の魅力を効果的に発信することを目的に無料で利用できる公衆無線LANサービスを開始。
- ◆地域活動に必要な物品などの運搬用として、自治会等に軽トラックを貸し出し、地域活動の利便性を高め、地域を活性化。



軽トラック6台を配備

# 主な議案 9月 定例会

今回は、平成29年度決算の認定と刈谷市公共駐車場条例の一部改正についてなどです。質疑については、主なものを中心に、要約して掲載します。

## 平成29年度決算を認定 一般会計で歳入が歳出を56億円上回る

決算審査特別委員会 審査のあらまし  
本会議での説明後、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。さらに、企画総務、福祉産業、建設、市民文教の4分科会を設置しました。分科会では代表監査委員の出席のもと、審査が行われました。26日の決算審査特別委員会では、分科会での審査結果を踏まえ、採決を行いました。

## 主な質疑項目

■企画総務分科会  
施設保守点検業務委託契約の一元化による費用削減効果、財政調整基金の積立額の考え方、防災ラジオの販売台数の増加理由、防犯灯LED化事業の効果、消費生活相談件数の増加理由

■福祉産業分科会  
企業人材パワーアップセミナーの概要、地区社会福祉協議会の役割、高齢者配食サービス事業における一般食の利用状況、国民健康保険基金の活用、地域支援事業の概要

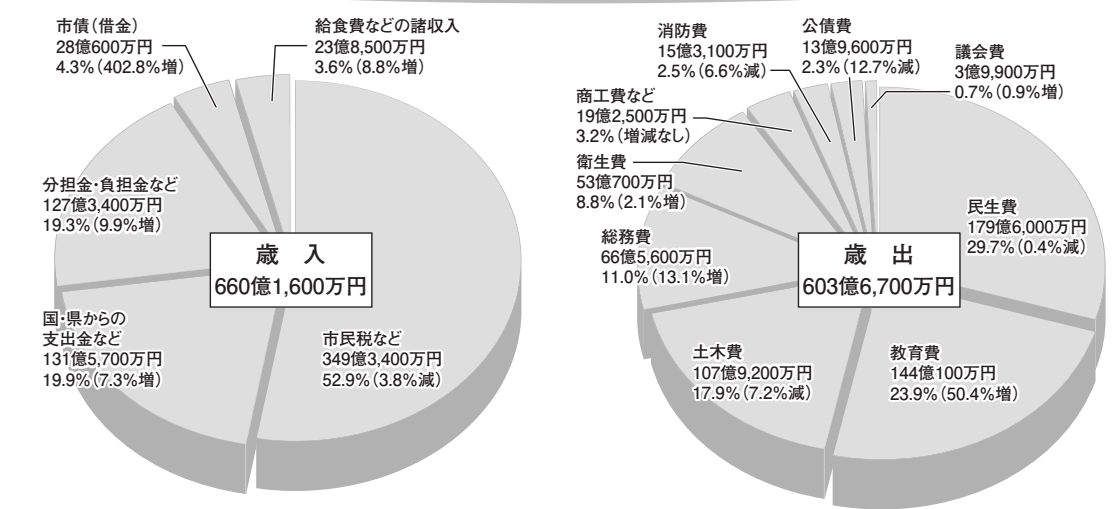
■建設分科会  
都市施設管理協会委託料の前年度との違い、土地利用計画検討事業の成果、都市交通計画調査推進事業の概要、歩道整備事業の開始時期、減債積立金の概要

■市民文教分科会  
東吉野村との交流事業の概要、一般旅券発給等業務委託の業務内容、給食費の徴収方法と未納率、妊産婦歯科健康診査の概要、スクールガードの役割、地域活動車両貸出事業の概要



代表監査委員による意見陳述

## 一般会計の内訳 (前決算年度対比)



(国・県からの支出金などの内訳) 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

(分担金・負担金などの内訳) 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

(商工費などの内訳) 商工費、農林水産業費、労働費、災害復旧費、諸支出名、予備費

(注) それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

## 各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	660億1,600万円 (+4.9%)	603億6,700万円 (+8.0%)	56億4,900万円
特別会計	249億6,300万円 (+5.3%)	219億1,100万円 (+1.4%)	30億5,200万円
刈谷小垣江駅東部土地画整理事業	10億8,700万円 (+161.0%)	2億9,000万円 (+0.4%)	7億9,700万円
刈谷野田北部土地画整理事業	2億4,400万円 (+13.3%)	2,500万円 (▲13.5%)	2億1,900万円
国民健康保険	140億2,700万円 (▲0.3%)	124億5,000万円 (▲1.9%)	15億7,700万円
後期高齢者医療	16億6,500万円 (+7.3%)	16億6,100万円 (+7.5%)	400万円
介護保険	79億4,000万円 (+6.5%)	74億8,500万円 (+5.9%)	4億5,500万円

会計名	区分	収入 (前決算年度対比)	支出 (前決算年度対比)
水道事業	収益的	29億2,200万円 (+0.6%)	26億1,300万円 (+2.4%)
	資本的	4億6,300万円 (▲8.5%)	10億1,100万円 (▲20.6%)
下水道事業 (特別会計から移行)	収益的	37億2,000万円	36億2,800万円
	資本的	12億6,400万円	26億8,100万円

## 監査委員の意見(要旨)

Ⅱ一般会計 特別会計Ⅱ  
平成29年度の財政状況を財政指標でみると、財政力指数は0.07ポイント上昇し、1.38、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は4.7ポイント上昇し、79.5%、実質公債費比率は0.8ポイント低下し、△2.3%となっている。この3つの指標は、財政運営上において、いずれも良好な水準にあると認められる。

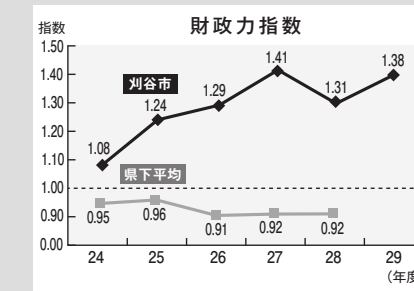
今後の財政状況については、歳入においては、段階的に法人市民税の一部を国税化する税制改正により減収も懸念されることから、国庫補助事業について、引き続き国や県の予算編成や補助制度の動向に細心の注意を払い、内容変更等を的確に把握し、積極的に補助金等の確保に努めていただきたい。歳出においては、市民の安心安全に関する経費、次代を担う子どもへの教育に関する経費、住環境、都市基盤整備に関する経費など、よりよいまちづくりに不可欠な経費が増加している。そのため、事業の予算化・実施に当たっては情報収集、分析能力を高め、事業の必要性を十分に検討した上で、「最少の経費で最大の効果」を改めて意識し、計画的、効率的かつ効果的な行政経営に努め、今後も健全な財政を維持していただきたい。

Ⅲ水道事業会計Ⅲ  
平成29年度の純利益は3,268万1千円減少し、2億5,222万3千円となったが黒字を保っている。貸借対照表から主要な経営指標をみると、経営の安全性を示す自己資本構成比率は88.1%で引き続き良好な水準にある。また、短期債務に対する支払能力を示す流動比率は、64.9.8%で、理想比率とされる200%以上であり、固定資産が自己資本によりどの程度まかなわれているかをみる固定比率についても、86.2%と望ましいとされる100%以下である。この3つの指標は、良好に推移しており、健全経営が確保されていることを示している。

市民生活を支える重要なライフラインのひとつである水道事業において、中長期的な視点に立つて水道事業ビジョンや経営戦略を策定し、健全な事業運営に努めていただき、安心で安全なおいしい水が将来にわたり安定して供給されることを望む。

Ⅳ下水道事業会計Ⅳ  
平成29年度の純利益は2,270万6千円で黒字である。貸借対照表から主要な経営指標をみると、自己資本構成比率は67.5%で平成28年度の県平均が58.5%であることから、県平均より企業経営の安定度が高いと言える。今後も、企業債の償還額は増加する傾向にあると想定されるため、下水道使用料等の収入を確保し、出資金を減少させるよう努められたい。

より多くの収入を確保するために水洗化率を向上させ、経営基盤の強化を図るとともに、将来にわたって安定したサービスが提供されることを望まれる。公営企業会計へ移行したことから、経営状況や資産状況を的確に把握することが可能となることから、安全性の高い事業経営を目指すとともに、市民生活に密着した下水道施設について、減災も意識した適切な維持管理を行い、今後も市民の安心・安全な生活が維持されることを望む。



## 議決結果一覧表

- 平成29年度刈谷市一般会計継続費の精算について 同承認
- 公平委員会委員の選任について 同承認
- 教育委員会委員の選任について 同承認
- 建設委員会委員の選任について 同承認
- 建設委員会関係・3議案 すべて可決
- 指定管理者の指定について(野田駐車場) すべて可決
- 刈谷市公共駐車場条例の一部改正について すべて可決
- 指定管理者の指定について(野田駐車場) すべて可決
- 刈谷市地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正について すべて可決
- 市民文教委員会関係・2議案 すべて可決
- 指定管理者の指定について(刈谷市立おおば保育園) すべて可決
- 工事請負契約の締結について(ウェーブスタジアム刈谷グラウンド改修工事) すべて可決
- 平成29年度決算関係・10議案 すべて認定及び可決
- 刈谷市一般会計歳入歳出決算認定について(※) すべて可決
- 刈谷市刈谷小垣江駅東部土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- 刈谷市刈谷野田北部土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- 刈谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について(※) すべて可決
- 刈谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について(※) すべて可決
- 刈谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について(※) すべて可決
- 刈谷市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(※) すべて可決
- 刈谷市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(※) すべて可決
- 平成30年度補正予算関係・5議案 すべて可決
- 刈谷市一般会計補正予算(第2号) (※) すべて可決
- 刈谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- 刈谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- 刈谷市介護保険特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- 刈谷市下水道事業会計補正予算(第1号) すべて可決
- 議長発議・1件 決定
- 議員の派遣について 採択
- 議案・1件 採択
- 平成31年度税制改正における自動車関係諸税の技術見直しを求める請願(※) すべて可決
- 平成31年度税制改正における自動車関係諸税の技術見直しを定める意見書(※) すべて可決
- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書 採択
- 国の私学助成の拡充に関する意見書 採択
- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書 採択

●公平委員会委員の選任について  
平成30年9月30日で任期満了となるので、次の方を選任することに同意しました。(任期は4年)  
かみや みきこ (1期目)  
●教育委員会委員の選任について  
平成30年9月30日で任期満了となるので、次の方を選任することに同意しました。(任期は4年)  
つるた ひでたか (1期目)  
●公平委員会とは・・・  
地方公共団体職員等の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するために置かれる機関です。  
●教育委員会とは・・・  
学校の設置及び管理に関することや、教員の人事についてなど、教育行政を執行するために置かれる機関です。